

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(生活協同組合パルシステム山梨 長野 諏訪センター)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			全ての雇用形態において、差別のない雇用を実施 各種窓口を設置し、相談体制を整備				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			コンプライアンス相談窓口を設置 →内部相談窓口、外部相談窓口				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			各事業所単位で36協定を締結								8.5 8.8										
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			全ての雇用形態において、差別のない雇用を実施 各種窓口を設置し、相談体制を整備				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3									
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全衛生委員会を設置 各事業所担当者と定例会議実施			3				8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルス相談窓口を設置 →産業カウンセラーとの電話相談が可能		3																
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			役員体制では、理事17名中13名が、監事3名中3名が女性で構成（24年6月末）			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			各種研修機会を職員へ提供 →マネジメント研修、安全運転管理者研修、エコ検定受験等			4	5.5		8	9											
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の等の原則に沿って対応 →くるみん認定				5.5		8.5		10.2 10.3										
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断やストレスチェック、インフルエンザワクチン接種補助、熱中症対策用品の支給等を実施		3					8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類・量を把握し、データ管理 産業廃棄物の契約・マニフェスト管理													11.6	12		14.1		
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			エネルギー使用量の管理・把握							7.3								13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			パルシステムグループでの計画に連動し、エネルギー使用量の他、ドライアイス使用量の把握や冷蔵の冷媒管理を実施						7.2 7.3							12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			生活協同組合としての環境関連法令を参照			3.9		6.3								11.6	12.4				

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した商品供給を通じ、生物多様性の保全を視点に内外に広報									6.6							15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			約40年前にリサイクルの取り組みを日本で先駆けて始めた大月市の主婦グループと共に活動をはじめ、現在も牛乳パック回収を実施												13		14.1			
	【水の管理】 ・水资源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		事業形態該当なし						6.4											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001は2001年～2013年認証を取得・運用仕組み構築・定着を踏まえ返上し、自主運用に切り替え実施			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			HPIに環境活動報告を掲載													12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			パルシステムグループでのFIT電気(再エネ)+再エネ率81.2%(2024年8月)の電力事業を展開し、事業所施設でも5/6箇所で使用(割合は98%)						7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			認証商品取り扱いの他、産地との産直提携など、持続的な環境保全への取り組みを実施												12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則にて規定																16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則にて規定																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			パルシステムグループのブランドマニュアルに規定						8.2	8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護方針、個人情報規定を運用																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		事業形態該当なし																	16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			パルシステムグループを通じ、リスクの管理					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		生協間連携において実施しているため			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			パルシステム独自の商品検査センターの運用				3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			パルシステムグループの商品取り扱いに関する独自基準(商品づくりの7つの約束・生活用品への6つの想い・産直4原則など)を構築・運用									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			パルシステムグループを通じ、製品の開発・設計							6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			パルシステムグループを通じ、社会課題を解決する製品、サービスの開発・展開 フェアトレードの推進と普及	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33 社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			見守り協定、災害協定の締結					4					9		11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			長野県諏訪地域振興局やフードバンク山梨と連携したフードドライブ運動の実施 予備青果のNPO団体への提供、コロナ禍の地域支援						4						11		14	15	17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			長野・山梨県の近郊産地の農産物を取り扱う独自チラシ「エシカル市場」を毎週発行								8	9		11	12	13					
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			パルシステム理念・ビジョンを明文化								8	9								17	
36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			管理職を中心とした内部相互チェックの取り組みを通じ、コンプライアンス意識の向上																	16	
37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			環境推進会議を実施し、各サイトに責任者を任命・整備																	16	
38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			組合員（登録約5万名）の代表である総代（約200名強）と年間を通じ、事業活動の報告や意見交換の実施																16		
39 組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			危機管理として、内部リスクの洗い出しおよびリスク事例確認を年2回実施・評価																	16	
40	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			SDGsの実現など、社会・環境に貢献できる事業に取り組む																	16	
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			事業継続計画(BCP)の策定											9		11	13	13.1			16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			ビジョンや中期計画の策定など、事業継承に関する検討や対策を実施									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定